温室効果ガス排出量 検証報告書

2026 年 5 月 21 日

株式会社カカクコム　御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者　前田 雅彦

1．検証の対象及び目的

株式会社カカクコム（以下「事業者」という。）が作成した算定対象※1 における温室効果ガス（GHG）（以下「算定情報」という。）排出量算定結果「2025 年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2025 年度（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1)スコープ 1 GHG 排出量
　算定対象における都市ガス、及び車両のガソリン使用に伴って直接的に排出される CO_2 排出量

2)スコープ 2 GHG 排出量
　算定対象における電力の使用に伴って間接的に排出される CO_2 排出量

検証の目的は、事業者の算定情報が算定方法※2 に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し算定情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された算定情報に対する結論を表明することにある。

2．検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って算定情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、及び関連資料の確認を事業者の本社訪問を含め実施
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 恵比寿ファーストスクエアへの訪問による算定対象、データ収集手順確認、供給されたエネルギーのモニタリングポイントの現場視察
- 算定情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3．検証の結論

算定報告書に記載された 2025 年度算定情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

スコープ	算定対象※1	検証された温室効果ガス排出量 (t-CO_2e)
スコープ 1	単体	5
	連結	7
スコープ 2※3（マーケット基準）	単体	1,532
	連結	1,538
スコープ 2※3（ロケーション基準）	単体	1,612
	連結	1,755
スコープ 1,2 合計（マーケット基準）	単体	1,537
	連結	1,545

NOTE:

※1：算定対象

・株式会社カカクコム 単体：事業所、所有施設、及びデータセンター（スコープ 2 ではデータサーバーのみ対象）

・連結：以下グループ会社を含むが、その内 2 社は算定に含まれていない。

- 株式会社カカクコム・インシュアランス
- 株式会社エイガ・ドット・コム
- 株式会社タイムデザイン
- 株式会社 webCG（スコープ 2 は単体に含まれる）
- 株式会社 LCL
- 株式会社 LiPLUS ホールディングス
- 株式会社 LiPLUS
- 株式会社アシスト
- 株式会社スマイティ・リアルエステート
- Time Design International Pte. Ltd.
- Jobcube, Inc.
- 株式会社アファナ（算定対象外）
- 株式会社ロックオン（算定対象外）

※2：スコープ 1, 2 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.8）」、及び事業者が作成した「算定手順」

※3：電力の排出係数（マーケット基準）：電気事業者・メニュー別基礎排出係数を使用
電力の排出係数（ロケーション基準）：一般送配電事業者別基礎排出係数を使用

以上